

西名阪国道天理インターチェンジ



設置状況

名阪国道天理インターチェンジの太陽光発電システムは、既設の遮音壁に太陽電池を取付けた、総延長140mの細くて長い太陽光発電システムである。

太陽電池の出力は、道路情報板等へ供給されるとともに、系統に連系されているので、余剰電力は逆潮流できる。

このような道路空間を有効利用したシステムは、太陽電池の新たな利用形態として注目されている。

建設省近畿地方建設局

所在地	奈良県天理市
システム	系統連系型
太陽電池容量	16kW
種類	単結晶
設置年度	1995年度